

# 村医者のノート術

—幕末・明治の勉強法に学ぶ—

9月4日(日)

14:00 ~ 16:00

定員 45名  
(申込先着順)

江戸時代の医者は、地域の文化人としての役割も求められたことから、医学に限らず幅広い教養を持っていました。しかし、学校や大学のなかった時代、お医者さんはどうやって知識を身につけていたのでしょうか？本講演では、埼玉県村医者のコレクションを調査してきた若手研究者が、国立市の本田家と比較しながら村医者の勉強法を紹介します。村医者のノートを紐解いて、現代における独学のヒントを探りましょう！

講師：古畑 侑亮

(一橋大学大学院 社会学研究科 非常勤講師)

場所：くにたち郷土文化館 講堂

【申込み】

8月6日(土) 9:30より

電話にてくにたち郷土文化館まで

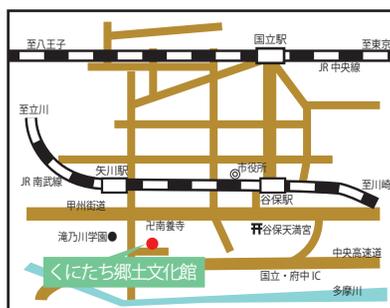
TEL: 042-576-0211



大観堂筆記 婦人方 (本田家旧蔵資料)

くにたち郷土文化館

〒186-0011 東京都国立市谷保 6231 番地  
電話 042-576-0211  
<http://kuzaidan.or.jp/province/>



交通情報

- JR 南武線「矢川」駅下車 徒歩8分
- JR 中央線「国立」駅からバス「国立操車場」行、または「国立泉団地」行、「くにたち郷土文化館前」下車すぐ



くにたち郷土文化館 HP